令和７年度　羽城中学校グランドデザイン

〈本県学校教育が目指すもの〉
豊かな人間性を育む学校教育

ふるさとを愛し、社会を支える自覚と高い志にあふれる人づくり

Ⅰ　思いやりの心を育てる
　1　人間愛の大切さの体得
　2　開かれた心の育成
Ⅱ　心と体を鍛える
　1　生き抜くたくましさの育成
　2　働くことの喜びの体得と意義の理解
Ⅲ　基礎学力の向上を図る
　1　自ら学ぶ意欲と態度の育成
　2　幼児児童生徒の個性と能力の伸長
Ⅳ　教師の力量を高める
　1　幅広い識見と教育愛の涵養
　2　社会の変化に即応した研修の充実

〈中央地区学校教育の重点〉
1　学校教育目標を具現する教育課程の編成と実施
2　思いやりの心やたくましい心と体の育成
3　資質・能力を育む各教科等の指導
4　教職員一人一人の力量と学校の組織力の向上を図る研修

〈研究主題〉
他者との関わりを通して、確かな学力の定着を図る指導の改善

〈本校の使命〉
よりよい地域社会と幸福な人生の創り手となる資質・能力を備えた人材の育成

〈「聖農」石川理紀之助の教え〉
寝て居(ゐ)て人を起こすこと勿(なか)れ

〈学校教育目標〉
共に学び、共に生きる

〈羽城三精神〉
克　己 ＝自分に打ち勝つ心
感　謝 ＝ありがたく感ずる心
連　帯 ＝共に力を合わせる心

〈経営の方針〉
○生徒の安全・安心と健全な成長を最優先する
○職員の和と共通実践を大切にする
○迅速で丁寧なチーム対応をする
○地域や関係諸機関と連携し、信頼され開かれた学校をつくる

〈潟上市が目指す子どもの姿〉
「勉強が好き。友だちが好き。まちが好き。」と言える子どもの育成
～他者とつながり、学びを共有し深化させる子ども～
○確かな学力の定着と豊かな人間性の育成
○ふるさと教育の充実

〈保護者・地域の願い〉
○夢や目標に向かって努力する生徒
○互いのよさや違いを認め、優しく思いやりのある生徒
○心身ともに健康でたくましい生徒
○郷土の一員としての自覚を持ち、主体的に関わろうとする生徒

〈目指す学校の姿〉
○夢や目標に向かう生きる力を育てる学校
○明るいあいさつと活気あふれる学校
○新たな取組に挑戦し続ける学校
○地域に誇りを持ち共に育つ学校

〈目指す生徒の姿〉
○主体的に行動する生徒
○互いのよさやちがいを認め合い、共に協力する生徒
○夢や目標に向けて粘り強く努力する生徒
○母校と地域に誇りをもつ生徒

〈目指す教師の姿〉
○教育愛と使命感をもち、積極的に関わる教師
○自校の教育課題の解決に向けた意欲をもち、互いに支え合いチームで取り組める教師
○指導力の向上を目指し、保護者や地域に学び、自己研鑽に励む教師

経営の重点と主な取組

1　共に考え、学ぶ意欲の育成と基礎学力の定着

(1)　確かな基礎学力の定着を図る指導の継続
・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業を展開する
・生徒の実態把握と学ぶ意欲を高める工夫をする
・学習の習慣化のための支援と称揚を心がける

(2)　生徒指導機能を生かした指導の充実
・主体的な自己決定の場を意図的に設ける
・互いのよさや違いを認め合う支持的な学級風土づくりと協働的な学びを進める

(3)　ICTを効果的に活用した授業の推進
・ICTの利点を活かした個別最適な学びを実践する
・さまざまなアプリを活用した生徒同士の協働的な学習を推進する

2　互いのよさやちがいを認め、高め合う心の育成

(1)　自治意識を養う特別活動の充実
・生徒が共に考え、協働する場を計画的に設定する
・適切な取組の振り返りと称揚で成功体験を共有する
・地域や関係諸機関と連携し人と関わることの大切さを感得させる

(2)　思いやりの心や自己有用感を育む
・全教育活動を通じた心の教育を充実させる
・共感的な人間関係づくりと体験を通じて、自己有用感の醸成をはかる

(3)　自分の命を自分で守る意識を養う
・命の尊さを実感できる体験活動の実施
・互いのよさやちがいを認め合い、命について考える機会を設定する

3　心身の健康の増進と安全・安心な環境づくり

(1)　日常的な保健・衛生活動の充実
・日常の取組の習慣化と健康保持増進を意識づける
・疾病の予防を徹底する
・環境整備と清掃活動の充実に向けた支援に努める

(2)　健全な心身を育む体育的活動・部活動の充実
・生徒の主体性を生かした活動を推進する
・保護者や関係者と連携し地域移行に向けた持続可能な運営を検討する

(3)　危険回避能力を育成する諸活動の実施
・災害や事故の状況を生徒自身が冷静に判断し、行動できる避難訓練を実施する
・関係諸機関の協力を仰ぎ、共通の目標を設定し、役割分担を明確にする

4　地域に開かれた学校づくりと郷土愛の醸成

(1)　ＣＳ制度を活用した地域に開かれた学校づくり
・地域や関係諸機関と連携した活動を充実させる
・保護者や地域の人々と協働する機会の創出する

(2)　効果的な学校評価の実施と改善
・外部評価、生徒や職員による評価を計画的に実施する
・評価結果の分析と改善を行う

(3)　積極的な情報発信と情報収集
・学校報･校長通信、学年･学級通信、HP、マスメディア等を利用し積極的に学校の取組を発信する
・保護者や地域の声を大切にし、学校経営に反映させる